学校番号	２０５

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「倫理」（東京書籍）						
副教材等	テオーリア最新倫理資料集 2024　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業時に学ぶ様々な思想について、自分の言葉で、友人に説明したり、それに対する考えを班で話し合ったり、プレゼンテーションに向けて文章にまとめたりの作業に真剣に取り組むこと。
現代社会の諸課題に関心を持ち、新聞・TV・インターネットのニュースをできるだけ視聴すること。
授業で取り上げられた思想について、資料集にある原典の表現にできる限り目を通し、興味ある部分について、インターネットを利用してさらに深く調べたり、関連する書籍を読んだりして、積極的・主体的に学ぶこと。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・古今東西の多様な思想（考え方）・文化を歴史的背景を踏まえて理解できるようになること。
【思考力、判断力、表現力等】
・現代社会の諸課題について、古今東西の先達の思想を踏まえて、社会のあるべき姿を模索し、自らの考えをまとめ、表現できるようになること。
・自己のあり方・生き方を模索し、あらゆる事象をより深く多面的に考えることができるようになること。自分としての考えを持ち、それを文章化したり発表できるようになること。
【学びに向かう力、人間性等】
・現代社会の諸課題について関心を持ち、社会のあり方・自己の考え方を模索すること。そのために、様々な思想を学びとともに人類的な課題について関心を高めること。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	青年期について及び、西洋・日本の古代から現代にいたるまでの思想について、幅広い知識を学び、環境問題・格差問題直の現代の諸課題に対応できるような技能を身に着いているかどうかを評価する。	「倫理」で学んだ知識及び技能を活用して、現代社会の課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等が身についているかどうかを評価する。	「倫理」の知識及び技能の獲得や、思考力、判断力、表現力を身に着けることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面の評価と、さまざまな取り組み（班別の調べ学習・グループ討論・プレゼンテーション）のなかで自らの考えを調整しようとする側面を評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	青年期の課題と自己形成	1 青年期の意義. 2、青年期と自己形成の課題 3、ギリシャの思想 ソクラテス・プラトン・アリストテレスなど。 4, キリスト教 ユダヤ教・イエス・キリスト教の展開など。 5,イスラーム	a:自らの体験などを振り返ることを通して自らを成長させる人間としての在り方・生き方について理解している。人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いに様々な立場を理解し高め合うことができる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができるような存在であることを理解している。自分自身が、自主的により良い公共的な空間作り出していこうとする自立した主体になることが自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結びつくことを理解している。 b:社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作ることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	定期考査・ノートやプリント	定期考査・ノートやプリント・プレゼンテーション	活動の様子の観察・プレゼンテーション
2	人間としての自覚	6 仏教 インドの思想・文化 ゴーダマの教説 仏教思想の展開 7,世界の思想 1、 中国の思想 儒家の思想 道家の思想 2、 日本の風土と伝統	a: 仏教・中国思想・西洋やイスラームの思想や、また、日本の伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができるような存在であることを理解している。自分自身が、自主的により良い公共の空間作り出	定期考査・ノートやプリント	定期考査・ノートやプリント・プレゼンテーション班別調べ学習・	活動の様子の観察・プレゼンテーション・班別調べ発表学習・・

		3、 人間の尊厳 ルネサンスと宗教改革 人間性の探求 4、 近代の科学革命と自然観 近代の科学革命 経験論と合理論 近代科学と社会の進歩 5、 自由で平等な社会の実現 社会契約の思想 人格の尊厳と自由―カント 人倫と自由の実現―ヘーゲル功利主義の思想	していこうとする自立した主体になることが自らの生き方を形成するとともによりよい社会の形成に結びつくことを理解している。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な課題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠を持って表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。			
3	現代に生きる人間の倫理	1，人間性の回復と主体性の確立 社会主義の思想 実存主義の思想 プラグマティズムの思想 2，生命の問題と倫理課題 生殖医療と遺伝子操作 脳死臓器移植と再生医療 自己決定と末期医療 3,環境問題と倫理課題 有限な地球環境 生物多様性と自然との共生 予防原則と世代間倫理	a:現代の思想を学ぶことや現代の環境倫理・生命倫理等を学び積極的に考えることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができるような存在であることを理解している。自分自身が、自主的により良い倫理的な空間作り出していこうとする自立した主体になることが自らの生き方を形成するともによりよい社会の形成に結びつくことを理解している。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な課題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠を持って表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査・ノートやプリント	定期考査・ノートやプリント・プレゼンテーション・班別調べ学習・	活動の様子の観察・プレゼンテーション・班別調べ学習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度